

ロタウイルスによる胃腸炎はワクチンで予防！

どんな病気？

ロタウイルスは乳幼児の急性胃腸炎の主な原因で、5歳までに一度は感染すると考えられています。

水のような下痢(白っぽい便)と嘔吐が特徴です。他のウイルスが原因の胃腸炎に比べ、脱水症状がひどくなるケースが多いです。腎不全・脳症など重い合併症が起こることがあり、命に関わる場合もあります。

例年、年末から発生が報告されるようになり、春先にピークがみられます。



感染のしかたは？

主に、患者の便の中に多量にいるウイルスが、周囲の人の口に入って広がります。感染力がとても強く、ごく少量のウイルスだけで感染してしまいます。

水や食べ物以外でも、ウイルスに汚染された物をさわった手から口に入っても、感染する可能性があると言われています。

保育園等での集団発生もみられます。潜伏(せんぷく)期間は1~4日間です。



学校や保育園は？

下痢や嘔吐症状が軽くなった後、全身状態が良ければ登校(園)できます。医師に相談しましょう。ただし、治った後も数週間にわたり便からウイルスが排出されることがあるので、できるだけ感染を広げないために、排便後の始末・手洗いが大事です。

ワクチンを受けておくと？

重症化や合併症を防ぎます。衛生状態を良くして、手洗いなどを徹底しても、感染を完全に防ぐことは非常に難しいので、ワクチンによる予防が重要になります。

ワクチンを受けるには？

液体の飲むワクチンで、生後6週から受けられます。4週以上の間隔で、ワクチンの種類(現在2種類が使われています)によって2回または3回接種します。

受けられる期間が短く決められているので、早目にかかりつけ医に相談しましょう。任意接種なので、費用は自己負担です。

